

## 「自分の捉え方」に関する調査 報告

### —質問紙調査協力のお礼—

おかげさまで、分析に必要な人数分のデータを集めることができ、無事に調査を終えることができました。ご協力いただき、ありがとうございました。

以下、本調査の概要と簡素ながら結果の一部のご報告です。

### 本調査における重要概念：首尾一貫感覚（Sense of Coherence : SOC）

#### —SOC とは—

「自分の生活世界（生きている世界）」はコヒアレント（coherent）である、つまり首尾一貫している、筋道を通っている、訳が分かる、腑に落ちるといふ知覚（perception）・感覚（sense）のことであり、「有意味感」「把握可能感」「処理可能感」の3つの感覚からなる、当人の生活規模の志向性である。」（山崎, 2008）

高いSOCを持つ人は、心身共に健康であり、幸福感が高いことが様々な研究で示されてきている。

### 本調査の目的：SOCが高い人は、「関心の狭い人」なのかどうかを検討する。

- ・ 本調査を含め、磯和の研究的関心は、1. 「SOCが高い人の特徴を明らかにする」ことと、2. 「SOCが他の心身の健康や幸福感を予測する概念と比べても、心身の健康や幸福感に独自の効果を持っていることを確認する」こと、3. 「学校教育にSOCを取り入れること」です。
- ・ 本調査目的は、1.と3.の目的と関連しています。SOCが高い人は、世の中や物事に対して「関心の狭い人」である可能性があります。それが本当なのかどうかを検討することが本調査の目的でした。もしも、SOCの高い人が「関心の狭い人」である場合、現在の学校教育に取り入れることを主張するのは難しくなります。そのため、SOCの高い人の関心が本当に狭いのかを確認する必要がありました。

### 調査結果：SOCが高い人の関心は狭くはない（知的好奇心は低くはない）。

- ・ 調査目的の検証のため、SOCの高群・低群で知的好奇心の値に違いがあるかを検討しました。
- ・ その結果、SOCの低群とSOCの高群では、知的好奇心の値に差がないことがわかりました（Figure 1）。
- ・ このことから、SOCの高い人は、「関心の狭い人」ではないことが主張できます。つまり、SOCが高い人は、自分の関心を狭い範囲に限定することで、高いSOC（「把握可能感」「処理可能感」「有意味感」）を保っているわけではないことが主張できます。

おかげさまで、貴重な調査結果を得ることができました。改めて感謝申し上げます。

これ以上の専門的な内容をご希望の方は、

isw.str@gmail.com にご連絡ください。

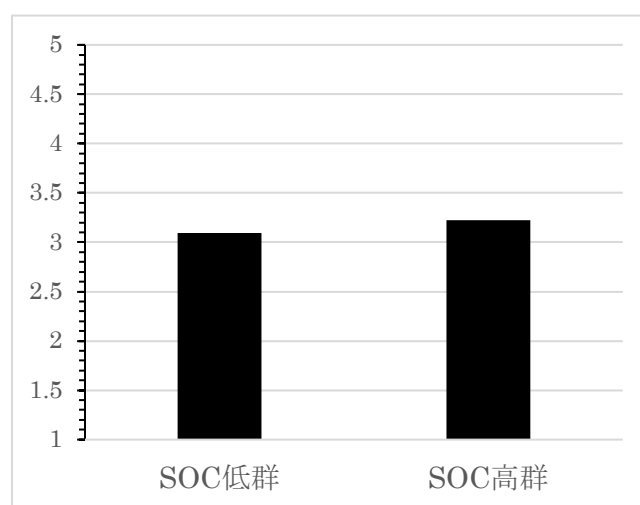


Figure 1. SOC 群別 知的好奇心の高さ